

# DWS グローバル・ユーティリティ・ボンド・マスター・ファンド DWS グローバル・ユーティリティ・ボンド・ファンド(愛称)

ルクセンブルグ籍／契約型／オープン・エンド型外国株式投資信託

## 交付運用報告書

作成対象期間 第5期(2016年10月1日～2017年9月30日)

第5期末		
クラス名	1口当たり純資産価格	純資産総額
米ドルクラス	9.32米ドル	56,692,868.40米ドル
豪ドルクラス	9.04豪ドル	
ユーロクラス	8.98ユーロ	
第5期		
クラス名	騰落率	1口当たり分配金額
米ドルクラス	1.74%	0.36米ドル
豪ドルクラス	2.46%	0.60豪ドル
ユーロクラス	-0.09%	0.36ユーロ

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

(注3) 純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、DWS グローバル・ユーティリティ・ボンド・マスター・ファンド(愛称:DWS グローバル・ユーティリティ・ボンド・ファンド)(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第5期の決算を行いました。

ファンドの投資目的は、インカム・ゲインの確保とファンド資産の中長期的な成長を目指すことによりトータル・リターンを追求することです。ファンドは、主に世界各国の公益債券に投資することにより、その目的の達成を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

書面でのファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。書面での交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイト([https://japan.db.com/jp/content/gaito\\_mgmt\\_reports.html](https://japan.db.com/jp/content/gaito_mgmt_reports.html))の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

管理会社

ドイチェ・アセット・マネジメント・エス・エー

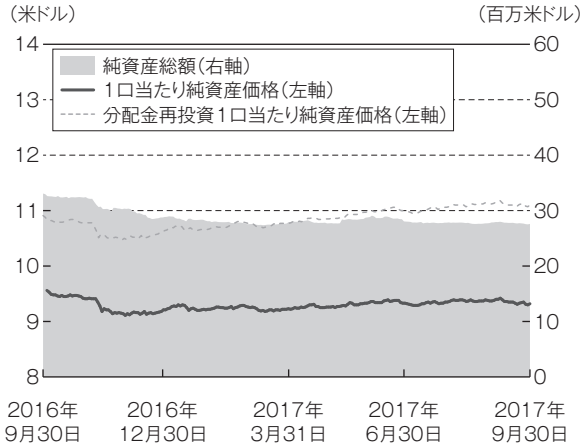
代行協会員

ドイツ証券株式会社

## 運用経過

### 》当期の1口当たり純資産価格等の推移について

#### <米ドルクラス>

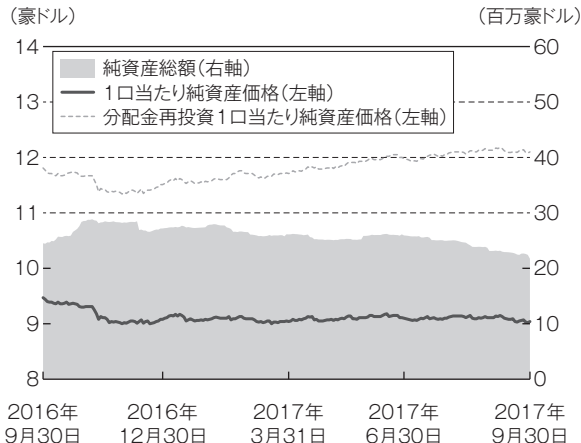


- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。  
 (注2) ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

第4期末の受益証券1口当たり純資産価格：	9.56米ドル
第5期末の受益証券1口当たり純資産価格：	9.32米ドル (1口当たり分配金額0.36米ドル)
騰落率：	1.74%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因  
 米国の追加利上げに対する警戒感などから米国や欧州の主要先進国の国債利回りが上昇したことは1口当たり純資産価格の下落要因となりました。一方で、利回りを求める旺盛な需要などを背景に債券市場は堅調となり、1口当たり純資産価格は小幅に上昇しました。

#### <豪ドルクラス>

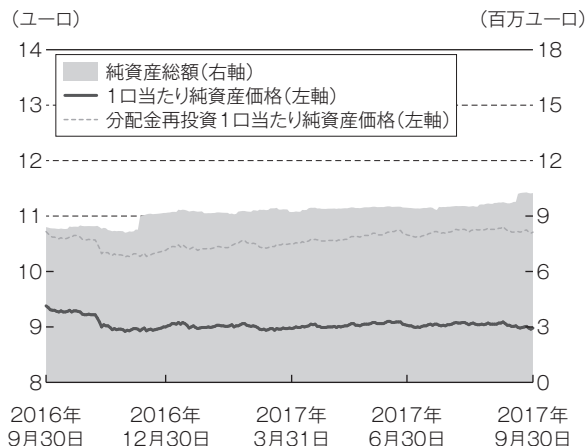


- (注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。  
 (注2) ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

第4期末の受益証券1口当たり純資産価格：	9.47豪ドル
第5期末の受益証券1口当たり純資産価格：	9.04豪ドル (1口当たり分配金額0.60豪ドル)
騰落率：	2.46%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因  
 米国の追加利上げに対する警戒感などから米国や欧州の主要先進国の国債利回りが上昇したことは1口当たり純資産価格の下落要因となりました。一方で、利回りを求める旺盛な需要などを背景に債券市場は堅調となり、1口当たり純資産価格は小幅に上昇しました。

## <ユーロクラス>



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

第4期末の受益証券1口当たり純資産価格：	9.38ユーロ
第5期末の受益証券1口当たり純資産価格：	8.98ユーロ (1口当たり分配金額0.36ユーロ)
騰落率：	-0.09%

### ■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

米国の追加利上げに対する警戒感などから米国や欧州の主要先進国の国債利回りが上昇したことは1口当たり純資産価格の下落要因となりました。一方で、利回りを求める旺盛な需要などを背景に債券市場は堅調となり、1口当たり純資産価格は小幅に上昇しました。

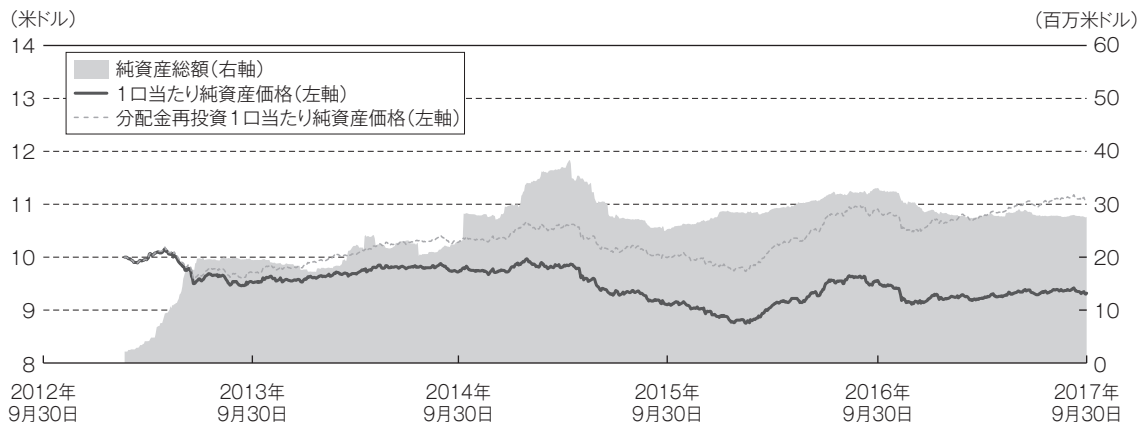
## 【費用の明細】

項目	項目の概要			
管理報酬	ファンドの純資産総額の年率1.4%以内 管理会社は、ファンドから管理報酬を受領し、管理報酬から以下のファンドの関係法人に対する報酬を支払います。		管理報酬は、各評価日に計算される受益証券1口当たり純資産価格に基づくファンドの資産から各月末に差し引かれます。 管理報酬は、ファンド設定・継続開示にかかる手続き、ファンドについての資料作成・情報提供、ファンドの運用状況・費用支払の監督、ファンドのリスク量の計測・管理、その他ファンド運営管理全般にかかる業務の対価として管理会社に支払われます。	
	手数料等	支払先	対価とする役務の内容	報酬率
	代行協会員報酬	代行協会員	受益証券1口当たり純資産価格の公表業務、目論見書、決算報告書等の販売会社への送付業務、およびこれらに付随する業務	ファンドの純資産総額の年率0.10% (四半期毎後払い)
販売報酬	販売会社	受益証券の販売業務・買戻しの取扱業務、運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務	ファンドの純資産総額の年率0.60% (毎月後払い)	
その他の費用	0.33%		借入金に係る支払利息および預金に係る負の利息、預託報酬、監査・訴訟・公告費用、年次税、その他の費用	

(注) 報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用」については、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示しております。

## 》最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

<米ドルクラス>



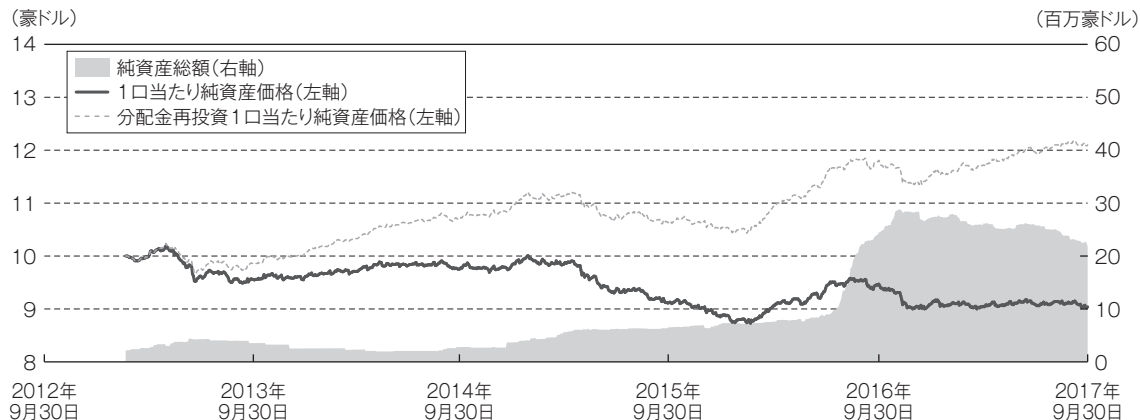
	設定日 2013年2月22日	第1期末 2013年9月末日	第2期末 2014年9月末日	第3期末 2015年9月末日	第4期末 2016年9月末日	第5期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格(米ドル)	10.00	9.53	9.72	9.10	9.56	9.32
1口当たり分配金額(米ドル)	—	0.18	0.36	0.36	0.36	0.36
年間騰落率(%)	—	-2.90	5.87	-2.82	9.21	1.74
純資産総額(米ドル)	5,045,933.03	30,865,634.63	31,429,938.21	37,555,345.98	61,284,386.66	56,692,868.40

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) グラフ中の純資産総額は、ファンドの米ドルクラスの純資産総額を表示する一方、表中の純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## <豪ドルクラス>



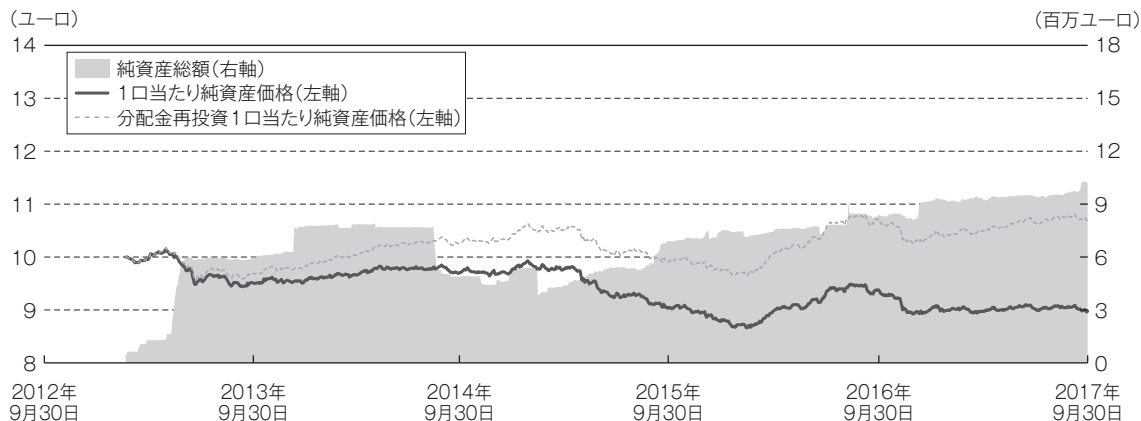
	設定日 2013年2月22日	第1期末 2013年9月末日	第2期末 2014年9月末日	第3期末 2015年9月末日	第4期末 2016年9月末日	第5期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格(豪ドル)	10.00	9.56	9.75	9.11	9.47	9.04
1口当たり分配金額(豪ドル)	—	0.30	0.60	0.60	0.60	0.60
年間騰落率(%)	—	-1.40	8.42	-0.56	11.10	2.46
純資産総額(米ドル)	5,045,933.03	30,865,634.63	31,429,938.21	37,555,345.98	61,284,386.66	56,692,868.40

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) グラフ中の純資産総額は、ファンドの豪ドルクラスの純資産総額を表示する一方、表中の純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## <ユーロクラス>



	設定日 2013年2月22日	第1期末 2013年9月末日	第2期末 2014年9月末日	第3期末 2015年9月末日	第4期末 2016年9月末日	第5期末 2017年9月末日
1口当たり純資産価格(ユーロ)	10.00	9.51	9.70	9.03	9.38	8.98
1口当たり分配金額(ユーロ)	-	0.18	0.36	0.36	0.36	0.36
年間騰落率(%)	-	-3.10	5.88	-3.41	8.17	-0.09
純資産総額(米ドル)	5,045,933.03	30,865,634.63	31,429,938.21	37,555,345.98	61,284,386.66	56,692,868.40

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注2) グラフ中の純資産総額は、ファンドのユーロクラスの純資産総額を表示する一方、表中の純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

(注3) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

## ≫ 投資環境について

欧米の主要国の国債利回りは、米大統領選後に政策期待が高まったことや追加利上げ観測などを受けて上昇しました。一方で、債券市場では原油価格の落ち着きや欧米の景気回復などを背景に投資家心理が改善したことや、利回りを求める旺盛な需要が続いたことがプラスとなり、債券価格は上昇しました。

## ≫ ポートフォリオについて

ファンドはエネルギーや公益関連等の発行する公益債券について、米国を中心として欧州およびその他の地域へも投資を行いました。また米国の追加利上げの可能性を踏まえ中長期的な金利上昇リスク低減を目指しデュレーションの短期化を継続しました。こうした結果、ポートフォリオの保有する債券価格は小幅に上昇し、平均利回りは低下しました。

## 》 分配金について

当期(2016年10月1日~2017年9月30日)の1口当たり分配金(税引前)はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

<米ドルクラス>

(金額:米ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2016/10/20	9.46	0.03 (0.32%)	0.01
2016/11/21	9.14	0.03 (0.33%)	-0.29
2016/12/20	9.14	0.03 (0.33%)	0.03
2017/ 1 /20	9.20	0.03 (0.33%)	0.09
2017/ 2 /21	9.23	0.03 (0.32%)	0.06
2017/ 3 /21	9.19	0.03 (0.33%)	-0.01
2017/ 4 /20	9.27	0.03 (0.32%)	0.11
2017/ 5 /22	9.30	0.03 (0.32%)	0.06
2017/ 6 /20	9.36	0.03 (0.32%)	0.09
2017/ 7 /20	9.33	0.03 (0.32%)	0.00
2017/ 8 /21	9.37	0.03 (0.32%)	0.07
2017/ 9 /20	9.33	0.03 (0.32%)	-0.01

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

$$\text{対1口当たり純資産価格比率(\%)} = 100 \times a / b$$

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

$$\text{分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額} = b - c$$

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2016年10月20日の直前の分配落日(2016年9月20日)における1口当たり純資産価格は、9.48米ドルでした。



<豪ドルクラス>

(金額:豪ドル)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2016/10/20	9.35	0.05 (0.53%)	0.02
2016/11/21	9.02	0.05 (0.55%)	-0.28
2016/12/20	9.00	0.05 (0.55%)	0.03
2017/ 1 /20	9.05	0.05 (0.55%)	0.10
2017/ 2 /21	9.07	0.05 (0.55%)	0.07
2017/ 3 /21	9.00	0.05 (0.55%)	-0.02
2017/ 4 /20	9.07	0.05 (0.55%)	0.12
2017/ 5 /22	9.09	0.05 (0.55%)	0.07
2017/ 6 /20	9.13	0.05 (0.54%)	0.09
2017/ 7 /20	9.09	0.05 (0.55%)	0.01
2017/ 8 /21	9.10	0.05 (0.55%)	0.06
2017/ 9 /20	9.04	0.05 (0.55%)	-0.01

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2016年10月20日の直前の分配落日(2016年9月20日)における1口当たり純資産価格は、9.38豪ドルでした。

<ユーロクラス>

(金額:ユーロ)

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 <sup>(注1)</sup> )	分配金を含む1口当たり 純資産価格の変動額 <sup>(注2)</sup>
2016/10/20	9.27	0.03 (0.32%)	-0.01
2016/11/21	8.95	0.03 (0.33%)	-0.29
2016/12/20	8.94	0.03 (0.33%)	0.02
2017/ 1 /20	8.98	0.03 (0.33%)	0.07
2017/ 2 /21	9.00	0.03 (0.33%)	0.05
2017/ 3 /21	8.94	0.03 (0.33%)	-0.03
2017/ 4 /20	9.01	0.03 (0.33%)	0.10
2017/ 5 /22	9.03	0.03 (0.33%)	0.05
2017/ 6 /20	9.08	0.03 (0.33%)	0.08
2017/ 7 /20	9.03	0.03 (0.33%)	-0.02
2017/ 8 /21	9.05	0.03 (0.33%)	0.05
2017/ 9 /20	8.99	0.03 (0.33%)	-0.03

(注1)「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%)=100×a/b

a=当該分配落日における1口当たり分配金額

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

(注2)「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額=b-c

b=当該分配落日における1口当たり純資産価格+当該分配落日における1口当たり分配金額

c=当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

(注3)2016年10月20日の直前の分配落日(2016年9月20日)における1口当たり純資産価格は、9.31ユーロでした。

## 今後の運用方針

米国では、米連邦準備制度理事会の資産縮小や追加利上げ観測が国債利回りの上昇要因となる一方、インフレ圧力が弱めとなっていることから上昇は緩やかになると予想されます。欧州では、ECBは慎重な政策運営を続けると見込まれることや、イギリスのEU離脱に向けた動向などから低金利が持続すると見えています。債券市場については、欧米の金融政策に対する不透明感や地政学リスクは変動要因となるものの、欧米の景気回復や利回りを求める需要が市場を下支えすると予想されます。引き続き当初の運用方針通り、主に世界のエネルギー・セクターおよび公益事業セクターの社債に投資しトータル・リターンを追求しつつ安定した収益および中長期的な元本の成長を達成することを目的に運用を行います。

## お知らせ

該当事項はありません。

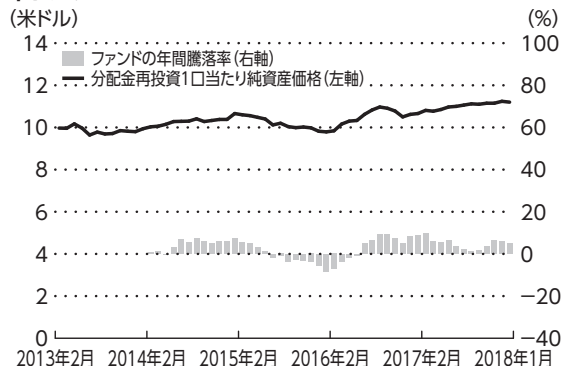
## ファンドの概要

ファンド形態	ルクセンブルグ籍／契約型／オープン・エンド型外国株式投資信託
信託期間	無期限
繰上償還	ファンドは、いつでも管理会社により解散されることがあります。管理会社は、受益者の利益を勘案して、管理会社の利益を保護するために、または投資方針のために必要または適切であるとみなされる場合、ファンドの解散を決定することができます。ファンドの解散は、法律上定められる場合、強制的に行われます。
運用方針	ファンドの投資目的は、インカム・ゲインの確保とファンド資産の中長期的な成長を目指すことによりトータル・リターンを追求することです。
主要投資対象	主に世界各国の公益企業・公社が発行する債券
運用方法	<p>ファンドは、主に電力・ガス・水道等を供給する世界の公益企業・公社が発行する債券を投資対象とします。上記に加え、その他の日常生活に密接なサービスを行う企業が発行する債券にも投資します。投資対象は、取得時において原則BBB一格相当以上（ムーディーズ、S&amp;Pまたはフィッチのいずれかによります。以下同じです。）とします。</p> <p>組入債券の平均格付は、原則としてBBB一格相当以上となることを目指します。</p> <p>(注1) 格付が公表されていない場合は、投資運用会社の内部の格付を用います。</p> <p>(注2) 複数の格付機関により異なる格付が付与されている場合は、上位の格付を採用します。</p> <p>ファンドは、米ドル建以外の資産に投資を行った場合、原則として、対米ドルで為替ヘッジを行います。また、米ドル建受益証券(米ドルクラス)、対豪ドルで為替ヘッジを行う豪ドル建豪ドルヘッジ受益証券(豪ドルクラス)と対ユーロで為替ヘッジを行うユーロ建ユーロヘッジ受益証券(ユーロクラス)を発行します。</p>
主な投資制限	<p>管理会社は、ファンド資産の運用にあたり、以下の投資制限を遵守します。以下は、ファンドの投資制限の要点を例示したものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 証券取引所で取引可能でない証券または別の規制市場(定期的に営業しており、かつ公認され、一般に公開されているもの。) で取引されていない証券に、ファンドの資産の15%を超えて投資することはできません。</li> <li>② 同一の発行体から同種の表章された権利の20%を超える部分を購入することはできません。</li> <li>③ 株式に投資するその他の集団投資ファンドもしくは会社型投資ファンドの株式もしくは受益証券に投資することはできません。</li> <li>④ 公式の証券取引所への上場が認められていないかまたは別の規制市場(定期的に営業しており、かつ公認され、一般に公開されているもの。) で取引されていない譲渡可能証券のショート・ポジションを保有することになる空売りを行うことはできません。ただし、ファンドは、かかる証券が流動性が高く、ファンドの資産の10%を超えない場合は、規制市場で相場を付けられずまたは取引されていない譲渡可能証券についてのショート・ポジションを保有することができます。もともと、同じ発行体により発行された同種の証券の10%を超える譲渡可能証券についてのショート・ポジションを保有することになる空売りを行うことはできません。</li> <li>⑤ ファンドの勘定による借入れを行うことはできません(ただし、一時的に、ファンドの資産の10%を上限として借入れを行うことはできます。)</li> <li>⑥ デリバティブ金融商品に関する証拠金支払いは、ファンドの資産の50%を超えることはできません。ファンドの流動資産の準備金は、少なくともファンドにより提供される証拠金支払いの金額と同額でなければなりません。</li> </ol> <p>管理会社は、ファンドの受益証券が販売される各国の法令を遵守するために、ファンド受益証券の保有者(受益者)の利益となる、または利益に反しない投資制限を随時課することができます。</p>
分配方針	<p>ファンドは、原則として、毎月20日を分配落ち日として分配を行います(20日が銀行営業日でない場合、翌銀行営業日に分配を行います。)</p> <p>(注) 分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。</p>

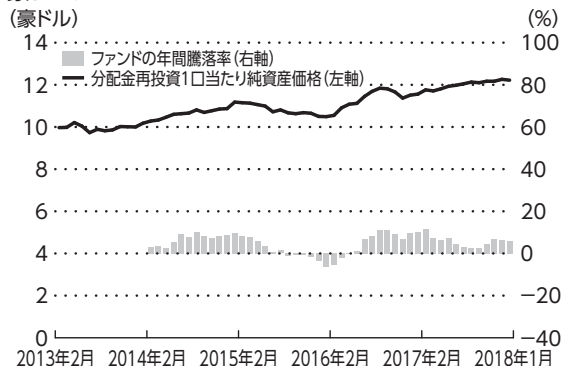
## 参考情報

- ファンドの年間騰落率および  
分配金再投資1口当たり純資産価格の推移  
(2013年2月～2018年1月)

### 米ドルクラス



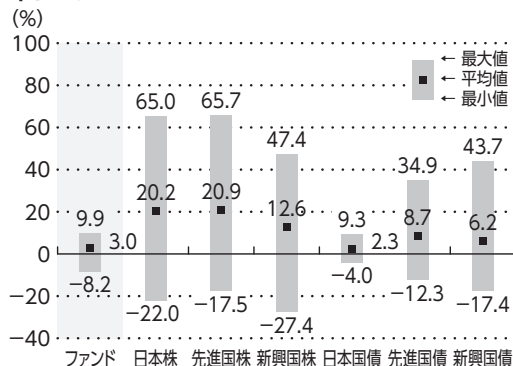
### 豪ドルクラス



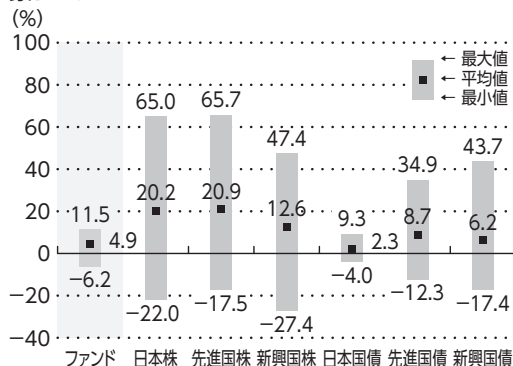
- ファンドと代表的な資産クラスとの  
年間騰落率の比較  
(2013年2月～2018年1月)

グラフは、ファンド(基準通貨ベース)と代表的な資産クラス(円ベース)のリスクを定量的に比較できるように作成したものです。

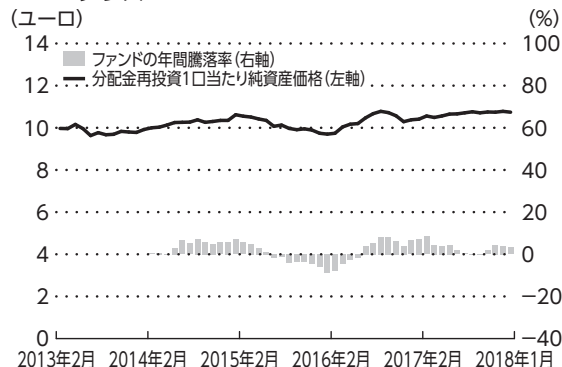
### 米ドルクラス



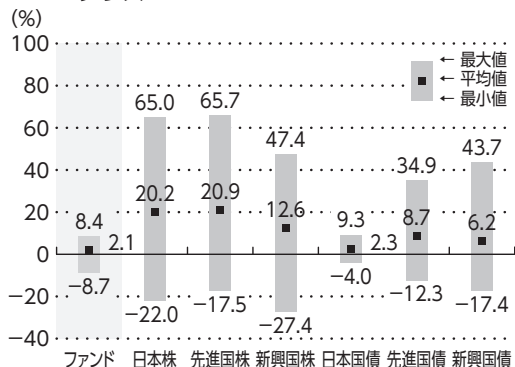
### 豪ドルクラス



## ユーロクラス



## ユーロクラス



- ※1 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。なお、ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の1口当たり純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。またファンドの年間騰落率は、各受益証券の基準通貨建てで計算されており、円換算されておりません。したがって、円換算した場合、騰落率は上記とは異なる場合があります。ファンドの設定日は2013年2月22日であるため、ファンドの年間騰落率は2014年2月以降のものとなります。
- ※2 分配金再投資1口当たり純資産価格の推移は、各月末の値を記載しております。なお、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の1口当たり純資産価格と異なる場合があります。ただし、設定来の分配金が0のファンドにつきましては分配金再投資1口当たり純資産価格は受益証券1口当たり純資産価格と等しくなります。
- ※3 2013年2月～2018年1月の5年間の年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、ファンドの設定日は2013年2月22日であるため、ファンドの年間騰落率は2014年2月以降のものとなります。したがって、ファンドと代表的な資産クラスとで比較対象期間が異なります。
- ※4 各資産クラスの指数は以下のとおりです。  
日本株: TOPIX (配当込み)  
先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)  
新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)  
日本国債: NOMURA-BPI国債  
先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)  
新興国債: JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)  
(注1) すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。  
(注2) 先進国株、新興国株、先進国債および新興国債の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

#### 各資産クラスの指数について

- TOPIX (東証株価指数) は、株式会社東京証券取引所 (以下「東証」といいます。) の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用等株価指数に関するすべての権利は、東証が有しています。東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIインク (以下「MSCI」といいます。) が算出する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社はNOMURA-BPIを用いて行われるドイチェ・アセット・マネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切の責任を負いません。
- FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。
- JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドは、JPMorgan Chase & Co. の子会社であるJ.P.Morgan Securities LLC (以下「J.P.Morgan」といいます。) が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。J.P.Morganは、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドおよびそのサブインデックスが参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドおよびそのサブインデックスが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証または奨励するものではありません。J.P.Morganは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否またはJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイドおよびそのサブインデックスが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または黙示に、表明または保証するものではありません。

## ファンドデータ

### ≫ ファンドの組入資産の内容(第5期末現在)

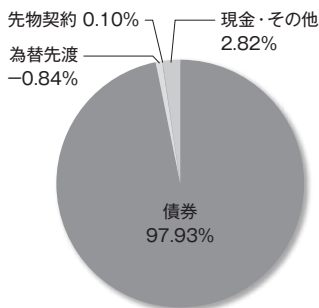
#### ● 組入上位資産

(組入銘柄数: 159銘柄)

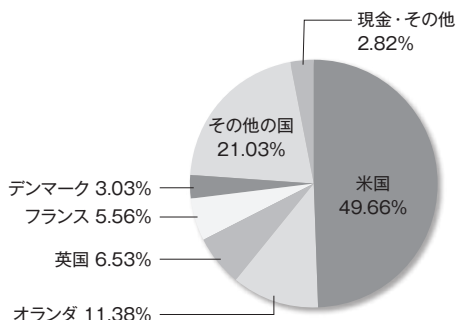
上位10銘柄	種類	国・地域等	投資比率
PACIFICORP	米国	債券	2.25%
KINDER MORGAN ENER PART	米国	債券	1.72%
DOMINION ENERGY INC	米国	債券	1.66%
ENERGY TRANSFER PARTNERS LP	米国	債券	1.53%
ABU DHABI NATIONAL ENER	アラブ首長国連邦	債券	1.43%
FLORIDA POWER + LIGHT CO	米国	債券	1.33%
DUKE ENERGY FLORIDA LLC	米国	債券	1.33%
SOUTHERN CAL EDISON	米国	債券	1.26%
TRANSCANADA PIPELINES	カナダ	債券	1.25%
ENERGY TRANSFER PARTNERS LP	米国	債券	1.20%

(注) 投資比率は純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

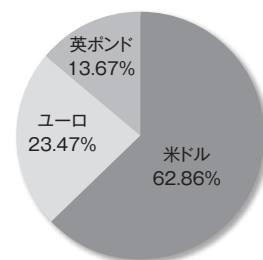
#### ● 資産別配分



#### ● 国別配分



#### ● 通貨別配分



(注1) 上記円グラフには、四捨五入した比率を記載しているため、比率の合計が100.00%にならない場合があります。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。また、投資比率は、組入資産の評価額の端数処理方法の違いにより、運用報告書(全体版)に記載されている財務書類中の比率とは異なる場合があります。

### ≫ 純資産等

項目	第5期末	
純資産総額	56,692,868.40米ドル	
発行済口数	米ドルクラス	2,960,499口
	豪ドルクラス	2,402,774口
	ユーロクラス	1,140,872口
1口当たり純資産価格	米ドルクラス	9.32米ドル
	豪ドルクラス	9.04豪ドル
	ユーロクラス	8.98ユーロ

(注) 純資産総額は、ファンドの純資産総額を表示しています。

	第5期中		
	販売口数	買戻口数	発行済口数
米ドルクラス	456,488口 (456,488口)	955,719口 (955,719口)	2,960,499口 (2,960,499口)
	1,070,889口 (1,070,889口)	1,257,584口 (1,257,584口)	2,402,774口 (2,402,774口)
	329,404口 (329,404口)	84,030口 (84,030口)	1,140,872口 (1,140,872口)

(注) ( ) の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。